

委員会活動 報告書

中国本部防災委員会

事業名	広島市矢野公民館 防災講座「～災害の知識を深め、もしもの時に役立てる！～」
実施時期	2025年6月12日(木) 13:30～15:00
実施場所	広島市矢野福祉センター 2F ホール
参加者	広島市矢野公民館地域 高齢者 31名 (講師)技術士会：青原、山下、金原、加藤、香村、水谷、竹内、広島工業大学 2名
事業内容と感想	<p>広島市安芸区矢野公民館において、高齢者 40 名を対象に、土砂災害、河川災害、地震災害について、「自然災害と避難について～災害の知識を深め、もしもの時に役立てる！～」をテーマに、座学と実習を中心に 90 分の講座を行った。</p> <p>矢野公民館管轄地区は矢野小、矢野西小、矢野南小の 3 学区にまたがっており、矢野川に沿って海岸から会下山東山麓まで約 5km の地区である。</p> <p>平成 30 年の西日本豪雨災害では、矢野川の氾濫および矢野東地区の土石流により甚大な被害が発生しており住民の防災意識は非常に高い。</p> <p>講座の実施に際し、公民館からは以下の 2 点要望があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土石流対策が進み多くの砂防ダムが建設されている、住民は被災経験を忘れがちである。被災経験を忘れないような内容にしてほしい。 ・海沿いの埋立地では、地震災害について心配されており解説をお願いしたい。 <p>以上の要望を受け、豪雨災害・河川災害については広島豪雨災害と西日本豪雨災害の被害を中心に動画を用いた内容とし、地震については地震発生メカニズムを説明するとともに、矢野地区での発生が想定されている震度 5 強の地震の揺れについて動画を用いて警戒避難について解説した。</p> <p>1. 講座の内容</p> <p>1.1 土砂災害の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 広島豪雨災害 崖くずれの実態と被災者の体験談の解説。 ② 斜面崩壊動画の紹介 ③ 安佐南区梅林地区の土石流の発生状況と被災状況の説明。 ④ 土石流発生動画の紹介 ⑤ 平成 30 年西日本豪雨災害の概要。 ⑥ 熊野町川角大原ハイツでの避難の体験談の紹介 <p>1.2 河川災害の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 平成 30 年西日本豪雨災害の説明 ② 岡山県真備町小田川の氾濫 ③ 平成 27 年茨城県常総市鬼怒川の氾濫 ④ 西日本豪雨災害 広島県の被災状況動画 (RCC 放送ニュース) <p>1.3 地震災害の概要</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 東日本大震災の概要 ② 津波発生の動画紹介 ③ 阪神淡路大震災、熊本地震、能登半島地震の概要と被災写真の紹介 ④ 広島県で発生する地震災害について説明 <p>1.4 警戒避難についての説明</p> <p>土砂災害は雨の降り方と密接な関係があり、降雨量と土砂災害発生の関係を説明した。避難情報は雨の降り方によって発令される。避難情報がでた場合には、速やかに対応する必要があることを説明した。自宅近くの避難場所、安全な避難経路を再確認してもらい、避難における心構えを説明した。</p> <p>矢野地区では、南海トラフ地震、安芸灘地震により最大震度 5 強の地震が発生する恐れがあり、動画で震度 5 強相当の揺れを紹介し、地震が発生した時の身の守り方と室内の安全点検 (家具の固定や配置) について説明した。</p> <p>2. ハザードマップの確認とマイタイムラインの作成</p> <p>全体を 6 グループに分け、グループ単位でハザードマップの確認、避難所、避難路の確認を行った。</p> <p>マイタイムラインの作成は作成の方法を説明し、書き込みは各自持ち帰って行うこととした。最後に作成したハザードマップについて、1 名の方に説明してもらった。</p>

事業内容と
感想

3. 講座を受けた感想

- ・避難はその時の健康状態次第でできるかどうか不安です。地域との関わりを持つことが重要と感じました。
- ・防災士なので基本的に理解した。
- ・ハザードマップをいつも見ているが、自宅が判らなかつた。今日は教えてもらって良かった。
- ・映像等の説明が多くあり、わかりやすかつた。地域に合った資料もいただき家庭での話題にします。
- ・避難経験があるが避難所が定員オーバーで避難できなかつた。避難所の開設のしかたについて説明があり、勉強になった。
- ・矢野川、宮下川の氾濫が不安です。
- ・家に居たほうが安全。矢野小への避難は死に行くようなもの。
- ・6年前は避難しようと思ったが危なくてできなかつた。避難できるように心がけたい。
- ・高齢者夫婦で、家の近くに川があり川沿いの道を通らなければならないので避難できない。今までわからなかつたことが多かつたが、参考になりました。
- ・指定避難場所の矢野小は遠い、矢野中は山の上でむずかしい。自分の命は自分で守るしかないと思いました。
- ・矢野小は避難所としては危なくて避難できない。何をしないといけないか。一番大切にしないといけないことがよくわかりました。そうするには、自分はどうしたら良いか、何をしたら良いか、具体的に少し判った気がします。
- ・災害について再認識した。

6. 講座を行った感想

矢野地区は平成30年の西日本豪雨災害では、矢野東地区で土石流により大きな被害が発生しました。今回の講座は、改めて「災害の知識を深め、もしもの時に役立てる」との要望に沿って行ったものです。

地域の範囲が広く、時間が短かつたこともあり、通常おこなっているハザードマップの確認とマイタイムラインの作成といった作業に十分な時間をとることができず、参加した方にはやや消化不良の講座となった。

実際に6年前の被災時に避難経験のある人や不安な思いをされた方が多く、特に、避難所に指定されている矢野小学校への避難について不安を覚える人が多数あり、避難所への早めの避難を説明するだけでは納得がいかないようであった。



講習会風景

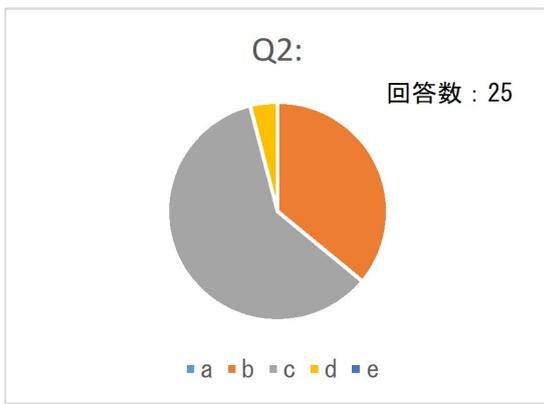
アンケート結果

Q1:講座の内容はどれくらい理解できましたか



- a. たいへんよくわかった(100~80%)
- b. だいたいわかった(80~60%)
- c. あまりわからなかった(60~40%)
- d. よくわからなかった(40%以下)

Q2:講座内容の量はどのようでしたか



- a. 多すぎる
- b. 少し多い
- c. ちょうどよい
- d. やや少ない
- e. 少ない

Q3:最近災害がおこりそうだと感じたことはありますか

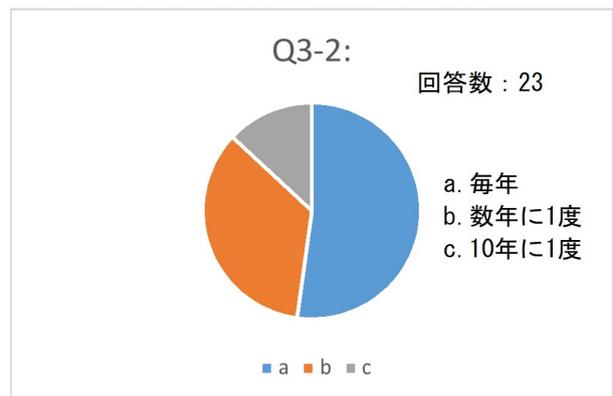


- a. ある
- b. ない

Q3-1:あると感じた現象は。



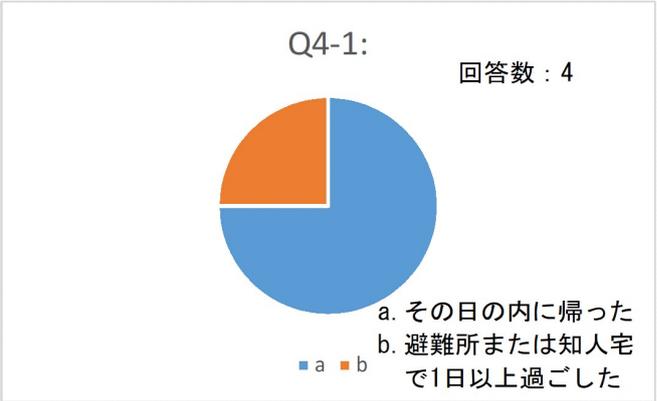
Q3-2:あると感じたのはいつ頃ですか。



Q4:今まで避難(ひなん)したことはありますか。

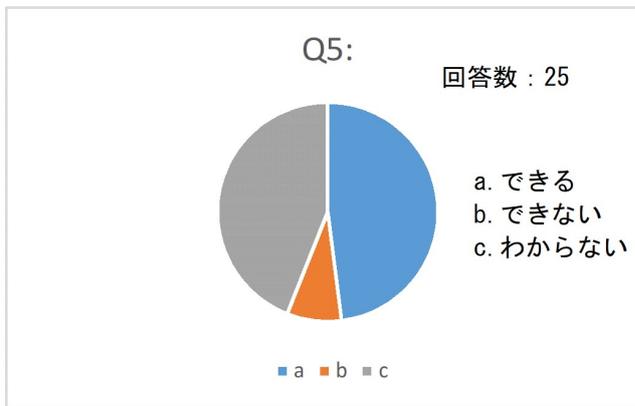


Q4-1:その後どうしましたか。



Q5:今日の講座を聞いて、災害が起こりそうな時、うまく避難ができると思いますか。

Q6:災害の時に避難する場所を知っていますか。



Q7:災害の時に避難する場所までの道を知っていますか。

Q8:雨の量や災害の情報はどうすれば入手できるか知っていますか。

